


平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立町田工業高等学校 全日制課程		進路実績	4年制大学	10%	短期大学	4%	専門学校	33%	就職	48%	その他	5%					
		「高度な情報化が進む社会に対応できる情報活用能力」と「現実的な職業観・勤労観」の育成		特徴	進路決定率100%を目指す(29年度就職内定率100%)。就職・進学いずれにも対応した進路指導														
基本情報	所在地	〒194-0035 町田市忠生一丁目20番地2		電話番号	042-791-1035														
	アクセス	JR横浜線町田駅、小田急線町田駅下車 (1) 町田バスセンター3番から「小山田桜台」行き「町田工業高校前」下車1分 (2) 町田バスセンター11番、12番、13番から「上宿」下車徒歩5分																	
本学情報	学科	総合情報科																	
	在籍生徒数	総合情報科 495人 (男子 382人 女子 113人)																	
報	教育課程の特徴	『総合情報科』基礎科目は共通履修(1年),2年から専門課程を5系列より選択 習熟度別授業(数学・英語・工業数理),少人数授業(国語・体育・専門)																	
	ホームページ	http://www.machidakogyo-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算	30年度(単位:万円)		2,857												
その他	その他	Cisco Networking Academy 認定校 海外学校間交流推進校		校服	制服		男子 プレザー(紺) 女子 プレザー(紺)												
	募集人員	推薦:男女52人、一般:男女123人																	
本学情報	入学者選抜	28年度入学生	推薦	男・女		1.79		29年度入学生	推薦	男・女		1.81		30年度入学生	推薦	男・女		1.90	
				学力検査	男・女		1.29			学力検査	男・女		1.23			学力検査	男・女		1.02
その他の特徴	・推薦選抜では作文に替えて実技検査を実施します ・工業高校としては女子の志望者、在籍者が多いです(約20~25%)																		
主な学校行事	文化祭、体育祭、マラソン大会(1、2年)、芸術鑑賞教室、修学旅行(3年)、遠足(1、2年)、工場見学(2年)、インターシップ(2年)、課題研究発表会(3年)																		

目指す学校 生徒に『考える力』をつけて卒業させる学校を目指す。
 『モノづくり』と『コトづくり』、そして『人づくり』 都内唯一の『総合情報科』の工業高校として情報活用能力を育て実践的な職業教育を推進する。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	「生徒の希望進路の実現」を果たす ・最後まであきらめさせない励ましの指導を全校的に継続する。 ・進路講話、進路ガイダンスなどの充実で社会人として望ましい勤労観・職業観を育む。 ・インターンシップを充実させ職業に対する理解を深めさせる。 ・自己肯定感を高めるため資格取得や検定受験を積極的に進める。	・第1学年では各系列の学習・進路ガイダンスを行い、系列を選択。第2学年では進路希望先別進路ガイダンス、卒業生体験談を聞く会、工業見学を実施。第3学年では学年当初ガイダンス、模擬面接などと共に、個別指導を進路決定まで行った。 ・インターンシップは115名(H29:43名)と、大幅増での実施となった。事前の指導の徹底もあって、実施後はほとんどの生徒に意識の向上が見られ、また各企業から高い評価をいただいた。 ・資格・検定関連講座を開講し、のべ417名(H29:341名)が取得・合格を果たした。第2種及び第1種電気工事士、ITパスポート、ACA(アドビ認定アソシエイト)など社会的評価の高い検定への合格者を輩出でき、2名がジュニアマイスターゴールドに認定された。今後も、MOSやCisco Networking Academyの校内受験体制を整備された高度な検定の合格者増に期待大である。	
目標②	「充実したわかる授業」、「いつでも、どこでも、誰でも」の組織的な生徒指導 ・やる気を引き出す「充実したわかる授業」を展開する(ALなど)。 ・「身に付けさせる規律・規範」に基づき、全教職員が一致して、厳しくも温かい生活指導を実践する。 ・健康づくり、安全管理、環境美化を徹底する。 ・防災教育を充実させて、自助・共助の意識と能力を育てる。	・習熟度別及び少人数授業を展開して基礎学力の定着に努め、校内寺子屋で参加者に学力向上・学習習慣定着が見られた。 ・全身体制で各授業担当者がチャイム着席、授業規律確保の取組、定期的な検査を柱に日々の身だしなみ指導、生徒指導部他による年間を通した毎朝の校門指導を継続実施した。継続的組織的遅刻指導を行ったが、総遅刻回数が約1.5倍となった。更に継続・強化する。 ・継続的な美化活動指導により、校内が清潔に保たれ、学校説明会その他で来校された外部の方々から高く評価された。 ・総合防災訓練を年6回、うち1回を宿泊防災体験活動で実施した。セーフティ教室、交通安全教室、防災講話など関係機関の協力を得て実施した。生徒会執行部が市の総合防災訓練に参加し、防災キャンペーングッズの作成・配付で協力した。	
目標③	本校の特色を理解した志望者を増やし、応募倍率の向上を図る ・都立工業高校唯一の「総合情報科」5系列の特色を生かし、ものづくり教室や1日体験入学を充実させて応募者増を図るとともに、入学生が本校教育課程にマッチングできるようにする。 ・小中学生向けのものづくり教室などを充実させて、小中学校や地域との連携を推進する。	主な小・中学生向け体験活動、地域連携活動は次の通り。 ・町田市少年少女発明クラブ活動支援(7・8・12・2月) ・ものづくり体験教室(11月) ・わくわくどきどき夏休み工作スタジオ(8月) ・部活動体験(7月) また、フラダンス部・吹奏楽部・ギター部・演劇部をはじめとする部活動による施設訪問等のボランティア活動も例年と同じ回数実施し、引き続き好評価を得ている。 ・入学者選抜応募倍率は推薦に基づく選抜1.27倍、学力検査に基づく選抜0.95倍であった。	


数値目標	今年度の数値目標の内容	27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	進路決定率100%、自身の希望する進路を全員が決めて卒業する。	100%	98.6%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
目標②	全学年生徒の退学者の割合を2.0%以下とする。	2.0%	2.4%	2.0%	2.8%	2.0%	0.7%	2.0%	4.6%	2.0%	2.0%	2.0%
目標③	推薦に基づく選抜の応募倍率を2.0倍以上とする。	2.0倍	1.8倍	2.0倍	1.8倍	2.0倍	1.9倍	2.0倍	1.3倍	2.0倍	2.0倍	2.0倍

町エグローバルITエンジニア育成プログラム

国際的なIT人材の育成を目指す目的で、標記のプログラムを立ち上げ、実施しています。このプログラムは、独立行政法人 国際協力機構（JICA）の後援のもと、国内では、JICAでの国際理解研修をはじめ、日本IBMやCiscoなど、世界的なIT企業に出向いての視察・研修や、講師として学校にお招きしての授業を実施しています。また夏季休業日には、ベトナムへのスタディーツアーを実施し、平成29年度は、日本大使館、JICAベトナム、ハノイ税関、NTTデータベトナム、NEC及び富士通のベトナム支店等でフィールドワークやプレゼンテーションなどを交えて研修を行い、また、ベトナムの歴史に触れる史跡等を巡り、国際文化理解や国際交流を行いました。平成30年度は、現地の高校生との交流も計画し、豊かなグローバル感覚を育むとともに、ITエンジニアとしての資質の向上に磨きをかけるツアーとなるよう、計画中です。



平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立町田工業高等学校 全日制課程		進路実績 特徴	4年制大学	7%	短期大学	1%	専門学校	34%	就職	53%	その他	5%
		「高度な情報化が進む社会に対応できる情報活用能力」と「現実的な職業観・勤労観」の育成				進路決定率100%を目指す(30年度就職内定率100%)。就職・進学いずれにも対応した進路指導								
基本情報	所在地	〒194-0035 町田市忠生一丁目20番地2		電話番号	042-791-1035									
	アクセス	JR横浜線町田駅、小田急線町田駅下車 (1) 町田バスセンター3番から「小山田桜台」行き「町田工業高校前」下車1分 (2) 町田バスセンター11番、12番、13番から「上宿」下車徒歩5分												
本学情報	学科	総合情報科												
	在籍生徒数	総合情報科 495人 (男子 382人 女子 113人)												
特徴	教育課程	『総合情報科』基礎科目は共通履修(1年),2年から専門課程を5系列より選択 習熟度別授業(数学・英語・工業数理),少人数授業(国語・体育・専門)												
	ホームページ	http://www.machidakogyo-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算	31年度(単位:万円) 2,714									
その他	その他	Cisco Networking Academy 認定校、海外学校間交流推進校、安全教育推進校		校服	制服 男子 プレザ- (紺), ネクタイ, スラックス 女子 プレザ- (紺), リボン, スカ- (スラックス可)									
	募集人員	推薦: 男女52人、一般: 男女123人												
情報	入学者選抜	29年度入学生	推薦	男・女	1.81	30年度入学生	推薦	男・女	1.90	31年度入学生	推薦	男・女	1.27	
	学力検査			男・女	1.23			学力検査	男・女			1.02	学力検査	男・女
その他	その他	・推薦選抜では作文に替えて実技検査を実施します ・工業高校としては女子の志望者、在籍者が多いです(約20~25%)												
	主な学校行事	文化祭、体育祭、マラソン大会(1、2年)、芸術鑑賞教室、修学旅行(3年)、遠足(1、2年)、工場見学(2年)、インターシップ(2年)、課題研究発表会(3年)												

目指す学校 生徒に『考える力』をつけて卒業させる学校を目指す。
 『モノづくり』と『コトづくり』、そして『人づくり』 都内唯一の『総合情報科』の工業高校として情報活用能力を育て実践的な職業教育を推進する。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価									
目標①	「生徒の希望進路の実現」を果たす ・最後まであきらめさせない励ましの指導を全校的に継続する。 ・進路ガイダンス等を計画的に実施し、社会人として望ましい勤労観・職業観を育む。 ・インターンシップを充実させ職業に対する理解を深めさせる。 ・より有用な資格等への継続的受験奨励・指導で合格に導き、自己肯定感を高める。										
目標②	「充実したわかる授業」、「いつでも、どこでも、誰でも」の組織的な生徒指導 ・やる気を引き出す「充実したわかる授業」を展開する(AL、ICT利用など)。 ・「身に付けさせる規律・規範」に基づき、全教職員が一致して、厳しくも温かい生活指導を実践する。 ・健康づくり、安全管理、環境美化を徹底する。 ・防災教育を充実させて、自助・共助の意識と能力を育てる。										
目標③	本校の特色を理解した志望者を増やし、応募倍率の向上を図る ・「総合情報科」の特色や改革内容に関連した説明会やものづくり教室等の充実、活動内容の積極的発信で本校を理解した応募者増を図り、入学生が本校教育課程にマッチングできるようにする。 ・小中学生向けの体験会やものづくり関連事業に積極的に取り組み、小中学校や地域との連携を推進する。										

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	進路決定率100%、自身の希望する進路を全員が決めて卒業する。	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%
目標②	全学年生徒の退学者の割合を2.0%以下とする。	2.0%	2.8%	2.0%	0.7%	2.0%	4.6%	2.0%		2.0%	2.0%	2.0%
目標③	推薦に基づく選抜の応募倍率を2.0倍以上とする。	2.0倍	1.8倍	2.0倍	1.9倍	2.0倍	1.3倍	2.0倍		2.0倍	2.0倍	2.0倍

町エグローバルITエンジニア育成プログラム

国際的なIT人材の育成を目指す目的で、標記のプログラムを立ち上げ、実施しています。このプログラムは、独立行政法人 国際協力機構（JICA）の後援のもと、国内では、JICAでの国際理解研修をはじめ、日本アイ・ビー・エムやCiscoなど、世界的なIT企業に出向いての視察・研修や、講師として学校にお招きしての授業を実施しています。また夏季休業日には、ベトナムへのスタディーツアーを実施し、平成29年度は、日本大使館、JICAベトナム、ハノイ税関、NTTデータベトナム、NEC及び富士通のベトナム支店等でフィールドワークやプレゼンテーションなどを交えて研修を行い、また、ベトナムの歴史に触れる史跡等を巡り、国際文化理解や国際交流を行いました。平成30年度は、現地のキムリエン高校の生徒とも交流し、現地の日系企業の状況も視察しました。今後も豊かなグローバル感覚を育むとともに、ITエンジニアとしての資質の向上に磨きをかける授業やツアーを計画しています。



企業での研修(左: Cisco 、 右: 日本アイ・ビー・エム)



ベトナムスタディーツアー(左:キムリエン高校生徒との交流 、 右:JICAベトナムにて)



ベトナムスタディーツアー(左3枚 : NTTデータベトナムの現地スタッフとフィールドワーク・プレゼン準備・発表 、 右1枚 : ハノイ市内見学)